

◎ 広 報

こじょうめ

平成11年

12月

No.785



大空に舞い上がる夢
みんなの夢

朝市と城のあるまち

Photo/五城目小学校



まろるる

とざ

五城目

秋田県のほぼ中央、かつて日本第二の大きさを誇った八郎湖の東側に広がる五城目町。この地に入々が暮らし始めたのは、はるか遠く縄文時代のころとされる。以来、私たちの祖先は、大自然とともにたくましく生きてきた。

現在、町の人口は一万三千余人。人々は林業や農業、そして朝市などの自然の恵みを上手に生かした仕事を手がけ、町の産物を県内だけでなく日本全国へも発信しようとしている。冬になれば、町は雪にすっぽりと覆われる。寒暖の差もある。しかし、だからこそ春から秋にかけて、町には余りある自然の恩恵を受ける。

私たちは、そんな自然の厳し





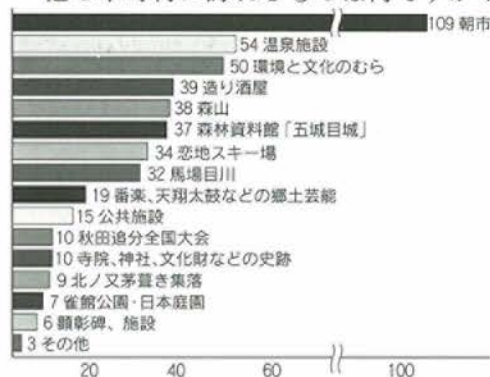
上段左から
8月15・16日開催のきや
どっこまつり。6月に開
催される朝市の祭典「**五
城目朝市**」。2・5・7・0のつ
く日に開催される「**五城
目朝市**」。

中段左から
北海道・東北で唯一の御
矢師。春、花見でにぎわ
う雀館公園。森林資料館
「**五城目城**」。

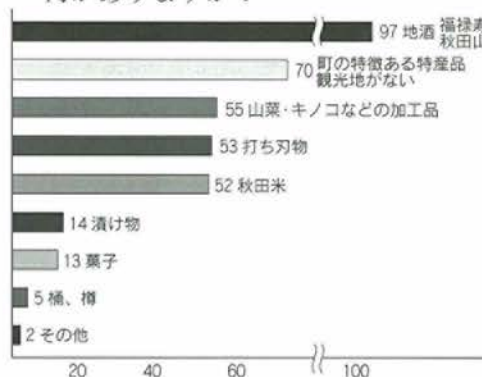
下段左から
五城目はすすむしの最北
の生息地。一生ものの打
ち刃物、種類も豊富。新
特産品の櫛小引き出し、
小さいながらも風格漂っ
逸品。

特産品開発を通して知る五城目町

Q.町内の施設、史跡、伝統文化などで、他の市町村に誇れるものは何ですか？



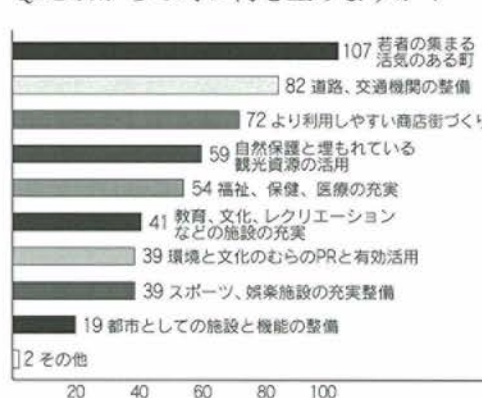
Q.町を代表するおみやげは何かありますか？



Q.町をさらに魅力ある町にするための問題は何ですか？



Q.これからの町に何を望みますか？



さと優しさを知っている。今を
懸命に生きる五城目町民。みん
なで培う五城目の未来は明るい。
老いも若きもだれもが元氣。暮
らしに笑いが満ちている。実は、
この町民一人ひとりが、町の特
産物なのだ。

※町商工会がむらおこし事業（特産
品開発事業）で、町内会長・町政協
力員などを対象に、実施した特産
品、観光についてのアンケート結
果からの抜粋（回収数 183件）

誕生・新特産品

五城目には、豊かな自然が生み出した良質の素材があります。そしてそれを磨き上げ、命を吹き込む職人がいます。このほど、町の魅力がぎゅっとつまった新しい特産品が誕生しました。この特産品開発は、町商工会のむらおこし事業によるものです。町を全国に発信する戦略がスタートしています。

五城目新銘菓

吟醸ブツセ酒蔵

青大豆まるごとうぐいすもち



菓子職人の技を今に受け継ぐ五城目菓子組合（広月堂・佐々木広志さん）

伝

統を引き継いだ杜氏が、つくり上げた吟醸酒と、菓子職人の技を合わせると、和風ケーキができました。地元の吟醸酒の香りと味を手軽にお楽しみください。

昔

ながらの諸越を人工甘味料、合成着色料を一切使わず、畑のダイヤモンド・青大豆一〇〇％でつくり上げました。商品名は町の鳥・ウグイスを取り入れています。

県

内では唯一五城目だけが産地となっているジネンジョを素材にしています。ジネンジョ特有の粘りにこだわり、添加物を一切使わず、煮干し、コンブ、鰹節のだしで仕上げています。だれにでも親しまれている「とろろ飯」それもジネンジョのとろろ飯を手軽に食べることが出来ます。

1パック約2人前300円
500円
11月から4月まで限定発売
●製造先／滑多羅温泉



吟醸ブツセ「酒蔵」(写真右)
1箱 5個入/500円
うぐいすもち(写真左)
1袋180円/300円
●製造先／五城目菓子組合

お母さんたちに 新特産品の感想を 聞いてみました



が入っていないのはとても良いと思います。

青大豆まるごと

うぐいすもち

もうちょっとしゃれた袋だったらいいと思います。諸越のうぐいす色をもっと強調できたらいいのではないですか。着色料を使っていないのはいいのだけど、もっとうぐいす色だったらいいと思います。おいしくないもろこしは、わざわざさした感じがありませんが、このもろこしは、さくさくしてとてもおいしいです。表面を焼いてるものも焼いていないものがあるのでもいいです。値段も手ごろでいいのではないのでしょうか。これも添加物が入っていないので安心です。

自然薯とろろ

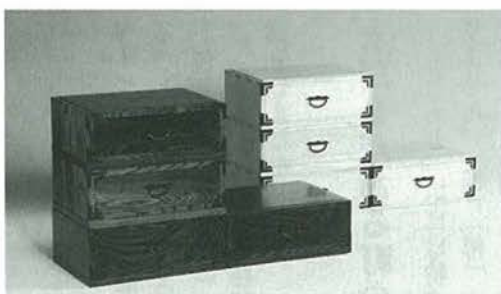
今回は見るだけなのです。が、とろろを手軽に食べることが出来るのはとてもいいです。ジネンジョを擦って、とろろ汁を作るのは大



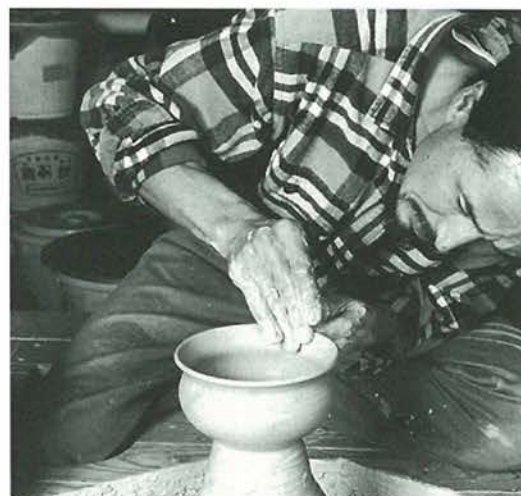
伝統工芸士・家具職人
興真木工所・渡辺琢智さん（75歳・田町）

匠の華 総桐小引き出し・樺拭き漆小引き出し

桐・樺の素材を生かした小引き出しです。二段、三段と重ねることが出来ます。伝統を受け継ぎ、磨き抜かれたたす職人の技術が、和だんすの風格を損なわず、現代のライフスタイルに合わせた製品をつくり出しました。使い方はいろいろ。実用性を兼ね備えたお部屋のインテリアとしても楽しむことができます。



総桐小引き出し1個 23,000円
樺拭き漆小引き出し1個 21,000円
製造先／五城目タンス組合



三温窯代表・佐藤秀樹さん（49歳・岩城町）の製作風景

温もりが伝わる 三温窯特製 筒片口・小どんぶり・銘々皿

町内の土と木、植物、薬灰などからつくられた釉薬を使い、陶器をつくり続けている三温窯。陶器の味わいを保ち、使い手の身になり、使いやすい器をつくり出した。

自然素材の素朴な陶器は、つくり手と土の温もりが伝わってくるような逸品です。



銘々皿1枚／2,000円
小どんぶり1個／3,200円
筒片口1個／6,000円
変わり皿皿1枚／750円
製造先／三温窯

※新特産品についてのお問い合わせは、町商工会・むらおこし実行委員会（☎852・3460）へお願いします。

また、五城目菓子組合は広月堂、松月堂、伊藤菓子店、光新堂、長栄堂、あらや菓子舗、草皆製菓、お菓子のしばた、ハチや菓子舗、ガトーきたきの十組合員で構成されています。代表は広月堂・佐々木広志さん（☎852・2494）です。

五城目タンス組合は、木工興真、五城目木工（株）、石力家具店、齋真タンス店、齋金タンス店、一関木工所の六組合員で構成されています。代表は木工興真・渡辺琢智さん（☎852・3209）です。

変な作業なので、このようなところがあれば便利です。県内では唯一五城目がジネンジョの産地なので、きれいな箱に四〜五個入ると、ちよつとしたおみやげにできるかもしれません。産地が「五城目」ということを強調できたなら、もっと良くなるのではないのでしょうか。

三温窯特製 筒片口・小どんぶり・銘々皿

総桐小引き出し
樺拭き漆小引き出し

本物の五城目職人の家具を手軽に手に入れるのには良いと思います。樺細工の引き出物を見たことがありますが、値段がもつと安ければ、そのような引き出物になりそうです。引き出しの中に何を入れようか迷ってしまいます。一家の家計を預かる主婦としては値段がとても気になります。

特産品開発秘話

さあ、特産品が誕生しました。これらの新特産品は、どのように開発されていったのでしょうか。探っていくと、町の生い立ちや魅力が見えてくるようです。そうです、町は昔からものづくりのまち、朝市のあるまちなのです。それはきっと将来も変わることはないでしょう。

町商工会むらおこし事業で誕生

新しい特産品は、町商工会の「むらおこし事業」(詳しくは左の伊藤万治郎商工会長のインタビューをお読みください)で開発されました。

このむらおこし事業は、町外からの講師を招き、様々な分野の町民が参加し、町の現状や歴史を分析しながら開発が進められました。町の歴史を分析していくと、町には美しい自然が豊富なこと、代々受け継がれてきた伝統工芸が脈打っていることなどの特徴があることが分かってきます。そして、それらを組み合わせ「匠」という固有の資源をキーワードとして、産業振興とまちづくりに取り組むことが必要とされました。

その結果、職人の技や地元の素材を生かした前

ページに掲載した吟醸ブッセ「酒蔵」、青大豆まるごと「うぐいすもろこし」、「自然薯とろろ」、「三温窯特製「筒片口」「小どんぶり」「銘々皿」、「総桐小引き出し」「櫻拭き漆小引き出し」などが誕生しました。

まだまだある町の特産品

もともと、町には特産品がなかったわけではありません。「桶」「樽」「打ち刃物」「矢」「和家具」「お菓子」「地酒」「ジネンジョ」「自然薯入りうどん」などです。また、おいしいお米の産地でもあります。平成二年、天皇陛下の即位行事の「大嘗祭」に大川石崎のお米が供えられました。五城目の「お米」も特産品の一つです。

町商工会長へインタビュー

みんなでつくりあげた新特産品

町の新たな特産品として、吟醸ブッセ「酒蔵」、青大豆まるごと「うぐいすもろこし」、「自然薯とろろ」、三温窯特製「筒片口」「小どんぶり」「銘々皿」、「総桐小引き出し」「櫻拭き漆小引き出し」が誕生しました。この特産品開発に町商工会長として陣頭指揮を執られた伊藤万治郎さんにお話をうかがいました。



今年3月に行われた試作品の報告会 これまでの経過と試作品がむらおこし実行委員に報告された

検証その1

座の繁栄

職人団地ごじようめ

五十目(今の五城目)には、その昔、瀬戸座、金屋座、線香座のほか、ものづくりの座は、鍛冶工座、油座、紙漉座がありました。江戸時代も後期になると、家具づくり、建具づくり、建具づくりの指物師、製材をする木挽き職人、木羽職人、桶職人、ロクロ師、下駄職人、塗り師、鍛冶職人、鍛冶職人、駄菓子職人、飾り職人などが、それぞれの細工場、工房、小屋をかまえていました。

江戸時代末の文久年間作の「秋田藩産物番付」に「潟うお」(八郎潟産の魚)や「五十目くら」がランクされています。馬場目など、五十目周辺は馬産地なのでくら作りが盛んで、五十目くらの名は高かったことが想像されます。ほかには、地名から作り職人も五十目には多く、地名に「鞍刺し小路」があるのは、職人団地をつくっていたからです。五十目にはさまざまな職人が物づくりに励んでいました。



朝市で人の往来があり、座が栄えた(写真は、大正初期の朝市通り)



伊藤万治郎 ●いとうまんじろう

昭和11年12月10日生まれ

字七倉132-1在住

(株)イトマン代表取締役。昭和60年5月、町商工会理事に就任。平成元年5月から町商工会会長に就任。ほかに昭和43年3月から3期12年町議会議員を務める。昭和62年3月から県議会議員を務め、現在4期目、平成11年4月からは商工労働常任委員長を務める。また、町観光協会会長も努めている。

「特産品を開発した「むらおこし事業」のことを教えてください。」

今回の特産品の開発には多くのみなさんから、ご協力やご支援をいただきました。厚くお礼を申し上げます。

むらおこし事業は、「地域資源調査事業」と「特産品観光開発事業」、「販路開拓支援事業」の三つがあります。

この事業は、町の経済の活性化を目指しています。町に關係する組織と住民の力を基に、国や県、商工会連合会に協力していただいています。そして、町の特徴・風土と伝統技術を生かした特産品の開発や観光資源など活用し、地区内の事業者の新たな事業機会をつくり出し、地域の振興・発展に役立てることを目的にしています。

「特産品の開発にあたっては、むらおこし実行委員会などから様々な意見が出されたとお聞きしています。どのような意見だったのでしょうか。」

アンケート調査を行い、その結果を基に、職人の町。朝市のある町として「匠」をテーマとした地場産業を展開していくことと「地域資源を活用し、町の魅力を高めていこう」などの意見がありました。

試作品の報告会では、「ネーミングにもう一工夫必要」「引き出しは持ち運びできるようにしたい」「ターゲットにする年齢層を製品に反映させるべき」などの試作品に対する具体的な

注文や「五城目の人は一般に売り方がへた」「話題作りが大切」「消費者の反応を絶えず取り込む努力が必要」などの販売方法のあり方などがありました。

「総桐小引き出しがさつそく賞をとられたというのですが、どのような賞なのでしょう。」

総桐小引き出しは、九月、宮城県仙台市で行われた「平成十一年度東北むらおこし物産展」で奨励賞を受賞しました。

また、十一月十九日から二十一日に、東京都池袋で行われた「第十三回ニッポン全国むらおこし展」特産品コンテストでは、来場者の人気投票で人気ナンバーワンになり、ふるさと賞を受賞しました。このふるさと賞は県内では二回目の受賞です。町の職人の技術は全国トップレベルなのです。

「木工品、工芸品の価格が高いように感じられるのですが、いかがでしょうか。」

今回の新たな特産品は、一個一個手づくりしています。どのくらい売れ行きが伸びるかも今の段階では想像できません。そのため、量産ができません。職人の手間賃、材料費などを考えると、このような価格設定になっています。

小引き出しや陶器は、手づくりなので、寸法などの注文にも応じています。自分だけの好みの大きさで、本物の持つ良さを味わっていただけます。

「販売方法はどのようなのでしょうか。」

現在は、五城館やリバーサイド磯ノ目などで販売しています。今後はその他の流通網、そして新たにインターネットなどの活用も視野に入れて取り組んでいこうと考えています。

検証その2

城下・久保田以上のものづくりの町

江戸時代後期、寺子屋で使った教科書の一つに「秋田往来」があります。これには羽州街道をたどり、秋田藩内の村や町の様子が紹介されています。五十目の記述は、城下の久保田より詳しく書かれています。そして、その部分を読むと、在郷町の町並みから商売、諸職が分かり、ますます、「職人の町」としての五十目が浮かび上がってきます。

五十目の部分に出てくる、職人を抜き出してみると、「木挽、仕立物、傘張、塗物、料理人、染屋、桶屋、下駄屋、足駄屋、鍋屋、酒杜氏、煙管張、石切、織物、壁塗、髪結、土瓦、鍛冶、鋳物師、硝子細工、杭銅卵、大工、職人、櫛挽き、餅屋、量刺、額刺、鍋の鑄懸、竹輪懸屋、箔引、羽針屋」などがあります。今よりも、多種多様な職人がいて、働き、久保田以上の「ものづくり」の町であったことがうかがえます。



町伝統工芸士・建具職人
小川木工所小川秀雄さん
(66歳・中川原)

五城目伝統の技

市による人・物の交流と豊かな自然がもたらす素材を基本に、いくつもの「座」が栄えた五城目。時代は移り変わっても「座」の心意気と技は脈々と受け継がれ逸品と呼ぶにふさわしい品々をつくりだします。

国指定の伝統工芸品 桶・樽

五城目の山々は、天然秋田杉の美林に富んでいます。この良質な木材資源は、古くから人びとを魅了し、そして職人が腕をふるってきたのです。削りあげた樽を組み合わせ、タガをはめたたるや。おけ。一分一厘の隙もなくならかな丸みを固定する伝統の手法はまさに職人芸です。

歴史も古く、はじめは祭礼用につくられていました。やがて中世には生活必需品として五城目市の特産となりました。



町伝統工芸士・桶樽職人
村上桶樽・村上幸蔵さん（77歳・新町）

1日5丁の丹念なつくり 打ち刃物

刃物の命は切れ味。もともとはカマやクワなどもつ五城目鍛冶の刃物は抜群の切れ味があります。真つ赤に熱した鉄を何度も何度も打ち、刃の部分になるハガネも打ちます。長年の職人の勘で焼き入れして、一日につくることのできる包丁は五丁が限度という丹念な手づくりです。

生活に密着した道具として「一生ものの刃物」をめざす職人の心意気が、一本一本に打ち込まれているのです。もとの三分の一くらいまで擦り減った包丁を持つてくるお客さんも少なくないのも納得です。



町伝統工芸士・鍛冶職人・小玉鉦正刃物工業
小玉正太郎さん（78歳・田町）と弟子入りした布川滋さん（29歳・畑町）

町の産業・文化が集合

十月三十日から十一月二日までの四日間、第二十三回町産業文化祭が広域五城目体育館、町民センターなどを会場に開催されました。

産業文化祭では、農産物や商工業製品などの展示、お茶会、町芸文協発表会、文芸展、芸術展などが行われ、町発展の息吹が発表されました。ここにも特産品の原点があります。

十一月二日には、産業文化祭褒賞授与式が行われ、農産物や商工業製品などの出品展示物約三百十二点（児童生徒作品を除く）の中から百三十点が表彰されました。

表彰されたみなさんは次のとおりです。（敬称略）

農産の部
優秀農業賞 伊藤容一郎（水稲・石崎）
優秀賞 佐藤靖（ほうれん草・谷地中）／佐藤孝子（セリ・小倉）／金子栄作（ミニトマト・西野）／小玉ヨネ



期間中好天に恵まれたたくさんのお客さんでにぎわいました。

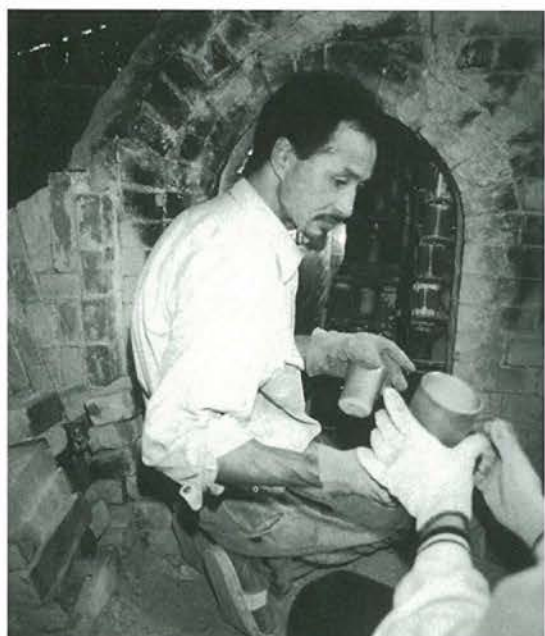


町伝統工芸士・御矢師
(有) 永澤弓具・永澤則明さん (58歳・築地町)

東北で唯一の御矢師の技 矢・弓具

矢の神髄を極める御矢師の誇りと技により完成される矢は、正射必中の醍醐味を味わえる正確性を持ち、同時に、眺めているだけで的を射抜く音が聞こえてきそうであり、凛とした美しさも備えあわせています。

五城目の矢は、東北で唯一の伊達藩正統の御矢師の手から成る逸品です。御矢師は、秋田の山々を訪ね歩いて、太さ、節、竹の姿を吟味し、二、三年生の竹を切り取ります。切った竹は皮をむき、約一年間自然乾燥させ、一、二〇センチの長さにし、似た節の竹を四本または六本選びます。その後、真つすぐにする「矯め」、重心などを調整する「削り」、竹を硬化させる「火入れ」、そして「研草洗い」「艶出し」などを経て、「仕上げ矯め」までおよそ八十五の工程で完成します。



登り窯から焼きあがった陶器を取り出す佐藤さん
焼きあがったばかりなのでまだ熱さが残っている

生活に伝わる土の温もり 陶器

こうした伝統の地に新しい風を吹き込む現代の陶芸が育っています。生活がどんどん洋風化する中で若い感覚の生活者意識が生産者にも必要となってきました。伝統の町と新しい感覚から生まれる土の温もりを大切にしているのです。

五城目に最初に「市」がはじまった中世から、市で売るものをつくるさまざまな手工業の座が繁栄しました。その中の一つに瀬戸座があります。最後の窯は砂沢城の下あたりにありました。そのころの焼き物で現在に残るものは、「文化の館」に展示されている「貼花文甕」などであり、文化財に指定されているものも多くあります。



生活工夫展の部
優秀賞 工藤誠子 (刺し子のれん二点・下樋口)
優良賞 加藤明美 (かすりのブラウスとトートバック、帽子・石崎) / 島崎イネ (刺し子テーブルセンター・下樋口)

商工の部
優秀賞 石井斌太郎 (三五巾衣裳タン・田町) / 渡辺琢智 (櫛階段タン・田町) / 小川秀雄 (茶室用雪見障子・中川原) / 一ノ関祐蔵 (組子衝立・畑町)
優良賞 小玉吉雄 (天然杉天上板・高崎) / 斉藤政作 (櫛芸タンス・新畑町) / 五城目菓子組合 (吟醸ブッセ酒蔵) / 清水俊悦 (黒塗丸テーブル・西磯ノ目) / 五城目菓子組合 (うぐいすモロコシ)

奨励賞 草皆ミチエ (ほうれん草・帝釈寺) / 千葉ヤスエ (セリ・小倉) / 松橋三郎 (白菜・小川口) / 鳥井鷹雄 (しめかざり・上樋口) / 金野金五郎 (柿・築地町) / 猿田理記雄 (水稲・上樋口)

(ネギ・八田)
優良賞 草皆ヤス子 (大根・帝釈寺) / 館岡アチ子 (ししとう・上高崎) / 館岡美智 (柿・下高崎) / 本間吉金 (水稲・館越)



町伝統工芸士・家具職人
五城目木工所 榎善正さん（66歳・大川）

優れた素材と職人の手技 和家具

多彩な職人町としての伝統をもつ五城目にあって、とくに木工関連の技は、豊富な木材資源にも支えられ、全国にその名を知られています。その一つが、重厚な趣のある櫨や美しい木目と色調の天然秋田杉を使った五城目たんすに代表される和家具です。

江戸時代から、生活用品としての実用性、機能性を追求して磨き抜かれた技術は、独特の美しさをも出し、現代の名工（卓越技能賞）など、数々の栄誉に輝いています。

さらには、障子、びょうぶ、欄間などの建具。厳選された天然秋田杉を素材に、指物師の文字どおり、細かな手作業から生み出される組子細工は、見る者の目をくぎづけにする繊細さと気品にあふれています。

書院障子、茶道裏千家にも納められている『風炉先びょうぶ』など、日本の伝統美を伝える製品はもとより、要望に応じて、現代の和洋折衷の住宅にも似合う新しいデザインのものもつくられています。



山野の香りと懐かしさの味 お菓子

五城目のお菓子と言えば、朝市でも人気の「おやき」。甘み控えめの小豆あんをくるんでいる皮は、お米を粉にひいてから練ったもの。つきもちにはない軽さと、べったり伸ばした程よい薄さ、さらには表面の焼きの香ばしさとが相まってさっぱりとした食感です。

おやきと同様、昔ながらの味を信条とする駄菓子も、こめか入りの生地を焼いて黒糖をからめた、その名のとおり「げんこつ」、地味噌を使った「みそパン」、「かりんとう」など、味も形も素朴な手づくりです。

豊富な山野の幸を生かした「くるみ餅」「山蔭入り最中」などの独特な風味もつくられています。

また、「五城目城」や「五城目天翔太鼓」などの新しい町の魅力を表現し、菓子職人技を活かしたお菓子も多彩です。



五城目のお菓子は、日本茶と相性ピッタリの素朴な味わいです。



産業文化祭にあわせて芸文協芸能発表会も行われました。

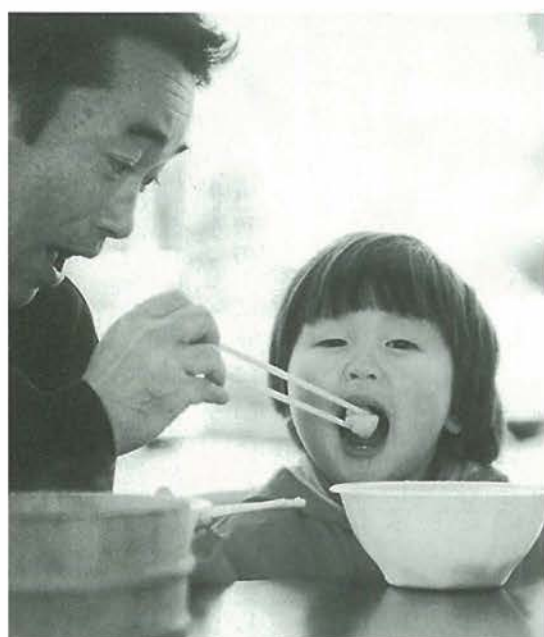
- （前頁に引き続き産業文化祭褒賞授与式で表彰されたみなさん）
- アイデア賞** 齊藤美枝（リュック（ジャンパー利用）・町村）
- 努力賞** 鳥井タキエ（ひ孫用ハッピー三点・上樋口）／小熊リミ子（紙粘土細工六点・大川一区）
- 福祉展の部**
- 優秀賞** 五城目町デイサービスセンター（砂絵・岩城町）
- 努力賞** 北嶋倉治（書道・大川四区）／本間市郎（芸品・館越）／渡辺礼吉（書道・矢場崎）
- アイデア賞** 本間タケノ（手芸・館越）
- 間伐コンクルールの部**
- 優秀賞** 工藤鉄良 浅見内 2部（41年生）
- 優良賞** 工藤兼太郎 浅見内 2部（41年生）／工藤利市 浅見内 1部（25年生）
- 奨励賞** 工藤市男 浅見内 1部（32年生）



蔵人の和がおいしいお酒を育みます
空気が冷えてくると酒の仕込みが始まります

育て上げる心から生まれた地酒

五城目の良い水とおいしい米、名水あるところ
に銘酒ありの言葉どおり、また、米どころの
中心地とあって、おいしいお酒もつくられています。
杜氏の手から手へと、その秘伝と心意気を受け継
いできている老舗の造り酒屋「福祿寿」と「秋田山」。
福祿寿は、三百年の歴史があり、恵まれた地下水
が柔らかさを加えて
いる酒質は頑に守ら
れています。
秋田山は、土地の
心にふれた酒造りに
徹し、雑味ない調和
のとれたさわやかな
飲み口が特徴です。
根強い地酒人気が
ら、ギフト用として、
土地柄やそれぞれの
銘柄の特徴を見事に
表現したセット商品、
高級感あふれる大吟
醸酒の逸品なども好
評です。



子どもからお年寄りまで、みんな大好きな『だまこもち』

元祖ふるさとの味 だまこもち

豊かな山の恵みを受けて育った山菜やキノコ。
新米の季節になると、家庭で必ずつくるのが
「だまこなべ」です。ピンポン玉のように丸めたご
飯を「きりたんぽ」と同じようななべ料理にして食
べます。採れたてのキノコや野の香りいっぱいのも
り、そしてよ
く肥えた地鶏
を使つてうま
みたっぷりの
汁にします。
何かと人が
集まればつく
るのが「だま
こもち」。酒
のさかなはも
ちろん、主食
代わりにもち
ります。五城
目のおふくろ
の味です。



- うまい米づくりの部
- 優秀賞 佐藤秀樹（谷地中）
優良賞 小野幸一郎（浦横町）／石川久夫（杉沢）
- 奨励賞 伊藤昭憲（久保）／石井一夫（御蔵下）／沢田石幸雄（湯ノ又二区）／石井與七（蓬内台）
- 文芸作品展の部
- 短歌 入選1位 松田淳（「雑詠」奈良崎）／入選2位 小野正明（「戦いの終わりの日や」下樋口）／佳作1位 近江安司（「希望の塔」鶴ノ木）／佳作2位 佐藤栄子（「真珠のあめ」谷地中）／佳作3位 工藤誠子（「暑き夏」下樋口）
- 川柳 入選1位 佐藤憲夫（「いつか一度は」御蔵下）／入選2位 加藤ヒサ（「花ごよみ」一番町）／佳作1位 柳原紅（「朱の割符」東磯ノ目）／佳作2位 佐藤栄子（「蕎麦の花」谷地中）／佳作3位 藤原文（「余生」田町）
- 俳句 入選1位 沢田石和子（「暮参り」湯ノ又）／入選2位 近江三保（「津軽ことば」鶴ノ木）／佳作1位 猿田天鳴（「晩夏」樋口）／佳作2位 伊藤智子（「銀河ステーション」希望ヶ丘）／佳作3位 石井貞子（「万年雪」七倉）
- 随筆 入選1位 渡部古都（「母の心」一番町）
- 詩 入選1位 黒森悠（「恋の終えん」鶴ノ木）



中学生の 職場訪問体験記

町内の物づくりの実際は、どのようなのでしょうか。

11月5日、五城目一中の1年生が町内の職場を訪問しました。インタビューや実際の仕事を体験し、今後の学習に役立てることが目的です。

ここでは、その中から主に物づくりの職場を訪問した7人の感想を紹介します。

みんなの感想に共通して、物づくりは、大変だけれども、それ以上にとても楽しかったということがありました。そして、訪問先の人たちには、とても優しくしていただいたということもありました。「町民一人ひとりの優しさ」「町民みんな一人ひとり」が町一番の特産品なのではないでしょうか

お客さんへの感謝の気持ちが大切

私たちは、山崎菓子店を訪問しました。

お菓子づくりやつくったお菓子を売ることはとても大変だと思いました。

菓子職人さんの慣れた手つきには驚きました。お菓子づくりを職業として、毎日、朝早くからやっているのだから、大変だろうなと思いました。

お客さんの注文に合わせ、うさぎの形のお菓子を作ることもあるそうです。お客さんの気持ちを大切に



小玉真梨子さん
五城目一中1年

県外からも注文があると聞きました。私たちもうれしくなりました。

とても楽しい。
町民一人ひとり。
五城目町を発信!



齊藤智絵子さん
五城目一中1年

仕事をしている人たちの真剣な姿を見て、私もいつか、頑張りたい仕事かしたいと思いをしました。

私たちは、福祿寿などのお酒をつくっている渡辺彦兵衛商店を訪問しました。建物は見慣れていましたが中はどうなっているのか興味があったからです。見学させてもらうと、酒蔵の中には人はいませんでした。酒づくりには時期があるそうです。今の時期は、ビン詰めや出荷だけなのだそうです。ビン詰め作業は一人ひとり違う作業をしていますが、だれもが真剣に自分の仕事を手早くやっています。

真剣に仕事をこなす姿に感動



舘岡邦雄くん
五城目一中1年

のは、とても大変なことを知りました。もう一つ、部品ができたときの喜びも学びました。

僕たちは、自動車の部品「ワイヤーハーネス」をつくっている秋田部品を訪問しました。僕たちもワイヤーハーネスの一部の部品を組み立てました。一つひとつは簡単な作業だけど、これを数百個、数千個もつくととなると大変だと思いました。また、僕たちがつくった部品は十個つくと一円なのだそうです。僕たちは百二十七個つくったので、十二・七円です。仕事をして、お金を稼いで食べていく

お金を稼ぐのは大変だと実感

たくさんの料理はとも大変

僕たちは、松竹食堂を訪問しました。
松竹食堂では、料理人がするエプロンをつけて、料理や盛り付けをさせてもらいました。

料理は温泉卵をつくることと、しいたけを切ることです。簡単だと思いましたが、一度にたくさん作るので、慎重に挑戦しました。

インタビュしてみると、仕事をしていて一番うれしいことは、お客さんに「おいしい」と言ってもらったときだそうです。



猿田恭介くん
五城目一中1年

料理が残さ
れていると、
どうして残っ
たか、味を確
かめるそつで
す。

大変だけど楽しい菓子づくり

私たちは、町内のお菓子屋さん長栄堂を訪問しました。

長栄堂で一番人気のあるお菓子は、「ドイツシュー」だそうです。私たちも試食させていただきましたが、とてもおいしかったです。

お店の人たちのお菓子づくりは、手際よく、楽しそうに見えました。私たちも挑戦してみると、大変だったけど、やっぱり楽しかったです。真剣にやっていたので、時間もあつという間に過ぎてしまいました。

お菓子づくりを体験させていただき、ありがとうございます。



畠山 唯さん
五城目一中1年

お菓子づくりを体験させていただき、ありがとうございます。

職(物づくり)はと支えているのはみんなで全国

カッコイイ溶接している姿

僕は、以前から興味があつた尾形鉄工所を一人で訪問しました。

工場での作業を見学させてもらっていると、溶接している人がいました。お面のようなものを顔につけながら、細い鉄の棒を鉄にあてて、目が痛くなるくらいまぶしい光を出していました。その姿はとっても格好良く見えました。

その後、僕は、鉄板の切断を体験させてもらいました。ものすごい爆音と火花を出し、手が熱くなつて大変な作業でした。今まで経験したことのないことを体験しました。



山脇 健くん
五城目一中1年

ものすごい爆音と火花を出し、手が熱くなつて大変な作業でした。今まで経験したことのないことを体験しました。

職人さんは仕事の達人

私たちは、御矢師という矢づくりをしている「永澤弓具店」を訪問しました。

永澤弓具店には矢をつくるためのいろいろな道具がありました。めずらしいので写真を撮たくさん撮りました。

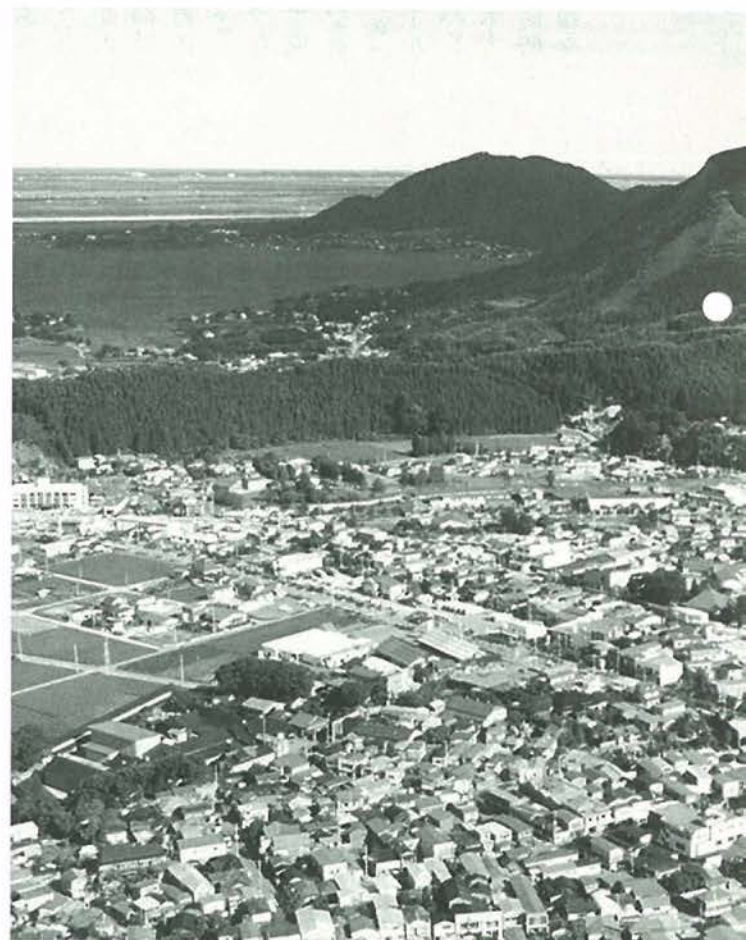
職人さんから説明してもらった後、私たちも矢づくりに挑戦しました。矢にする竹を削ったのです。職人さんは、簡単にきれいに削っていくので簡単だと思いました。

ましたが、やってみるとぜんぜんうまくできませんでした。

職人の仕事を見ることができてうれしかったです。



小玉けい子さん
五城目一中1年



ますますの発展を誓い合う 姉妹提携10周年記念式典



千代田区章

五城目町章

木村千代田区長（左から4人目）と
佐藤町長（左から5人目）を中心にみんなで
手を取り合い提携10周年を祝いました。



十月二十五日、ガーデン松竹を会場に木村千代田区長、石渡千代田区議長ら、両自治体の関係者約百人が出席し、千代田区五城目町姉妹提携十周年記念式典を開催しました。

式典では、姉妹提携十周年の歩みを振り返り、佐藤町長が「これまでの幅広い交流が、区民と町民の心を耕し、未来に花を咲かせると確信している。今後も限らない発展を願っている」とあいさつし、木村区長が「人情味あふれる五城目町は区民にとっても心のふるさとだ。互いに連携を密にして地域

福祉の向上に努めていきたい」と述べられました。両自治体は、二十一世紀も変わらず、相互の理解と協力を深め、連携を密にし、ますますの発展を誓い合いました。

わが町は千代田のふるさと

また、式典に先立ち、雀館公園で記念植樹を行い、成長を願い、ベニヤマザクラ十本が植えられました。

長くわが国の政治・経済などの中心にある東京都千代田区。その先進的な都市機能は、本町にとって学ぶべきものが多く、また、千代田区にとつては、本町の美しい自然などはあこがれのふるさとではないでしょうか。同時に千代田区の江戸っ子気質は、本町の職人氣質と通じあうところもあります。

子どもたちの交流から始まったこの二つの地域の縁を大切に、平成元年十月、両自治体は姉妹都市提携を結び、以来、行政の交流はもちろんのこと、子どもの水泳、バスケットボールをはじめ、五百歳野球、ママさんバレーボール、ゲートボールなどのスポーツ交流、民生委員による福祉・消防防災・社会教育交流など、年々その輪を広げ交流は深まっています。

姉妹都市「千代田区」

千代田区は東京二十三区のほぼ中心に位置し、面積は一一・六四平方キロ。昭和二十二年、それまでの麹町区と神田区が合併し「千代田区」が誕生しました。

千代田区という名は、江戸城の別名「千代田城」にちなんだもので、この地が近世以来、この城を中心に発展してきたことから命名されました。

日本の首都「東京」の中心

国際都市・東京の中心、豊かな緑にあふれた皇居を取り囲むようにして広がる千代田区。

江戸時代には、大名屋敷や武家屋敷が並び、チャキチャキの江戸っ子が住んでいた街も、現在では、日本の政治・経済の中心を担う大都市として発展を遂げています。その表情は、丸の内や大手町のビジネス街、国会議事堂や霞が関などの官庁街、そして神田の古本街や秋葉原の電気街など実にさまざまです。

千代田区には、歴史と文化に育まれた豊かな暮らしと、活気とやすらぎに満ちた人々の絶え間ない交流があります。

このような長い歴史と文化を誇る千代田区と姉妹の縁を結ぶことにより、互いの個性的な特性を活かしながら住民同士が親しく交流し、また非常時や緊急時には協力し助け合いながら、相互の発展に努めています。



江戸っ子のパワーが爆発！神田祭り（写真左）
千代田城の名残が残る春の千鳥ヶ淵（写真右）





準備
着々

介護保険

その8

介護保険料とその納め方は？

介護保険は、介護が必要になったときでも、自立した生活ができるよう、介護を社会全体で支える仕組みです。そして、介護保健サービスの利用が、平成十二年四月から始まります。

介護はだれもが直面する問題です。介護を社会全体で支えるために、原則として加入する人みんながを納めることとなります。

なお、「要介護認定」申請の受付が十月一日から始まっています。まだの方は、どうぞ申請手続きをしてください。

65歳以上の方（第一号被保険者）

◆保険料の納め方

老齢・退職年金が月額一万五千元（年額十八万円）以上の方は、年金から天引きされます。

年金額が月額一万五千元に満たない方は、個別に町に納めていただくことになります。

◆保険料

六十五歳以上の方の保険料は、住んでいる市町村のサービス水準によって異なります。また、所得によって五段階に分けられます。

保険料の基準額は、厚生省が示すサービス単価や介護報酬の決定などによって変動しています。最終的な保険料は、介護保険事業計画策定委員会の論議を経て、より町の実態に即した算定

を行い、来年三月の町議会に提案する介護保険条例のなかで決定します。

40歳以上64歳までの方（第二号被保険者）

◆保険料の納め方

医療保険の保険料と一緒に納めます。

◆保険料

計算の仕方や額は、加入している医療保険によって異なります。

①政府管掌健康保険・共済保険組合などに加入している方
保険料は給料に応じて異なります。医療保険の保険料と一緒に納めることになります。保険料の半分は事業主が

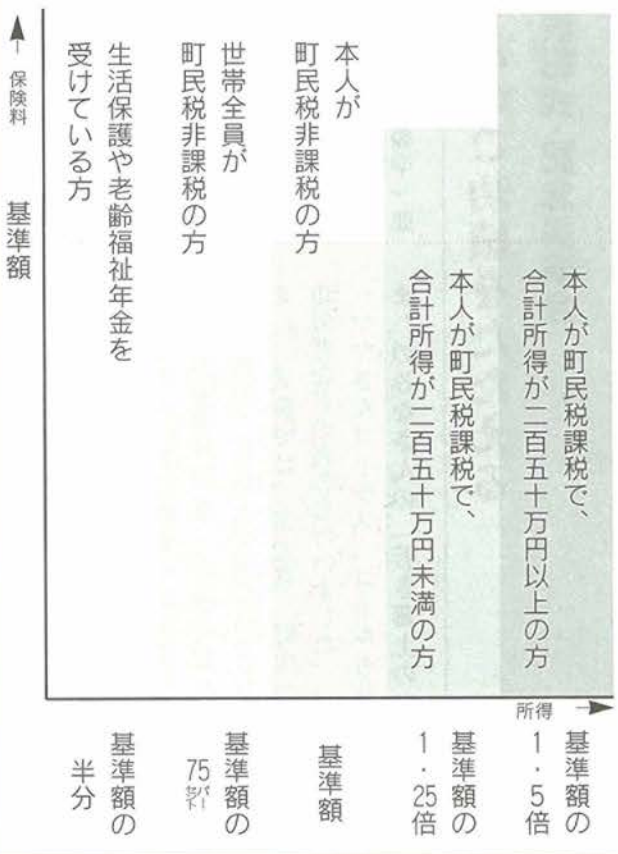
負担します。

②国民健康保険に加入している方
保険料は所得や資産などに応じて異なります。世帯主が、世帯の加入する全員分を納めることになります。保険料と同額の国庫負担があります。

疑問をお寄せください

介護保険のことで、「ここが知りたい」「こんな場合はどうなるの？」などの疑問がありましたら、福祉保健課（☎852・5128）または、企画振興課広報公聴係（☎852・5352）へお問い合わせください。住所は、どちらでも018・1792（郵便番号だけで役場に届きます）五城目町西磯ノ目二丁目一・一です。

65歳以上の方の保険料



知っていますか？ 整備つき車検と整備なし車検の違い

国の資格のある工場（整備つき車検）**点検 + 整備 + 検査 + 整備保障**

同じ車検でも内容が違う！ ユーザー車検・代行車検（整備なし車検）**検査だけ**

検査（車検）と点検・整備は、国の資格のある整備工場で!!

(有) 佐藤自動車
五城目町一番町 ☎ (018) 852-2059

選べる当社の車検（基本点検）

軽自動車	11,700円～
小型乗用車	14,950円～
中型乗用車	16,900円～
大型乗用車	19,900円～

諸費用は別。初回、走行3万km以内。分解点検の結果、追加部品代、技術料が必要になる場合もあります。



城目町芸術文化協会創立30周年記念式典



21世紀に向かってさらに活躍し合うことを誓い合った30周年式典

十一月二日、町民センターで町芸術文化協会創立三十周年記念式典が、開催されました。

式典では、協会発展に尽くされた方々の表彰を行い、二十一世紀に向かってさらに会員みんなが活躍し、発展していくことを誓い合いました。

表彰されたみなさんは次のとおりで

芸術・文化の発展に尽力された方々を表彰 芸術文化協会創立30周年記念式典

す。なお、功労者五人の方は「広報こじょうめ十一月号」に掲載しています。

感謝状／小玉康夫さん（前協会事務局長）／十一年度顕彰者／今野一城さん（すずむし吟社代表）／伊藤みゑさん（前コール森山代表）／安藤晃鶴さん（朝翠流五城目吟詠会代表）／藤蔭季代春さん（藤春会藤蔭流代表）



ますますご活躍されることを町民全員でお祈りします

十月二十七日、森林写真の巨匠・八木下弘さんへのふるさと大賞表彰式と記念講演会が、五城館で行われました。

ふるさと大賞は、町に関係があり、各分野で全国的または国際的に活躍され、広く町民が誇れる個人または団体を表彰し、さらにご活躍されることを支援しています。

八木下弘さんのご功績をたたえる ふるさと大賞表彰式・記念講演会

表彰後の「私と写真」と題して行った記念講演では、初めて森林写真を撮ったときのエピソードや師事した土門拳さんとの出会い、全国や南氷洋での撮影時の体験など、ユーモアを交えながらのお話がありました。

※八木下さんの経歴は「広報こじょうめ十月号」に掲載しています。



これからも町発展のためお力をお貸しください

町づくり支えていただきありがとうございます 平成11年度町功労者表彰式典

十一月三日、広域五城目体育館を会場に「平成十一年度町功労者表彰式典」が行われ、町内外から参列した約三百五十人のみなさんが功労者の晴れの受賞をたたえました。

今年度の町功労者には、元五城目町農業協同組合長理事・伊藤準一郎

さんら四人。各分野での功労者には、元町消防団分団長・小林吉蔵さん（自治功労）ら五人が選ばれました。

また、式典では、栄光賞、町内会長功労者などの表彰も行いました。

ママさんコーラス「コールもりやま」のみなさんの「若き郷土の歌」

で始まった式典は、町功労者表彰など各種表彰、来賓祝辞、町民の歌斉唱と続き、功労者の受賞をお祝いしました。

アトラクションでは、五城目天翔太鼓のみなさんが「天翔祝い太鼓」を演奏し、式典に花を添えました。

表彰されたみなさんは「広報こじょうめ十一月号」でご紹介しています。

行政に関係する相談は 行政相談員鍋谷さんへ

役所など行政に関係する苦情、要望はありませんか？ そのような相談を受け付けて、解決を図るのが行政相談員です。

行政相談員は、法律で、秘密を守り、公正、中立な立場で行政相談を処理することが義務付けられています。三十年間行政相談員として活躍されてきた長谷川豊さんが任期を終えたことに伴い、十一月一日から、鍋谷鶴芳さんが、行政相談員として総務庁長官から委嘱を受けました。

お気軽にご相談ください。



行政相談員 鍋谷鶴芳さん
(47歳・長町・☎852-2027)



叙勲受章おめでとうございます

十一月三日、秋の叙勲受章者が発表され、平成八年第一回ふるさと大賞の分銅惇作さん（七十五歳・紀久栄町出身・東京都在住）が勲三等瑞宝章を受章されました。

分銅さんは、元実践女子大学・同短期大学学長を務められました。

分銅惇作さんが勲三等瑞宝章を受章 平成11年秋の叙勲

また、著書に「近代詩鑑賞辞典」「中原中也」「宮沢賢治の文学と法華経」などがあり、宮沢賢治の研究、文学評論家として活躍されています。

分銅さんは町文化財保護審議委員会会長の分銅日香さんのご兄弟です。



日赤社費へご協力いただいた（左から）佐藤さん、金子さん、赤坂さん

日赤社員制度は、明治十二年から始まり、現在まで百二十二年続いています。この間、みなさんから活動にご協力いただき、国際活動や医療事業、社会福祉施設の建設などに役立てられています。

このほど、金子松之助さん（七十

三歳・館町）がこれまで五十万円以上のご協力をされ、金色有功賞を受章されました。また、佐藤善太郎さん（七十三歳・西野）と赤坂トエ子さん（六十五歳・大川一區）もこれまで三万円以上のご協力をされ、金色特別社員賞を受賞されました。

日赤社費へのご協力ありがとう 町内の3人が表彰



この記事をもとめた越高くん（左）と堀くん（右）ご協力ありがとう

僕たち五城目一中一年生八人は、十一月四日、町役場を職場訪問しました。とても緊張しながら町長さんにインタビューしました。

町長さんは、町長になった動機や町長になるために必要なことなどいろいろなことを話してくれました。

特に驚いたことは、町内小中学校の

パソコン学習レベルは全国トップレベルだということです。

ほかにも町長さんは国際交流の盛んなまちづくりをしたいと抱負を述べられていました。

僕たちは、この職場訪問の経験を生かして、社会にでたときに役立てていきたいと思っています。

町長さんいろいろなお話ありがとう 五城目一中1年生が役場を訪問

第2・第4土曜日は 町民センターで子ども放送局

予定番組	12月11日（第2土曜日）	12月25日（第4土曜日）
テーマ	ロボット	子どもPD（特番）
11:00	ロボットに関する図書を紹介	子どもたちの企画を基に製作する特別番組を放映する予定
11:15	最新のロボットを紹介	
13:30	ロボットコンテストを紹介	
14:00	ロボットづくりに挑戦	

「子ども放送局」は、文部省の「全国子どもプラン」の一つです。「全国子どもプラン」では、平成14年度の完全学校週5日制の実施に向けて、子どもの体験活動の情報提供などを行っています。衛星通信を利用した「子ども放送局」で「心の教育」や「科学技術への夢」を直接子どもたちに伝えていきます。

子ども放送局は、学校休業土曜日などに、①スポーツ選手、②一流の科学者・技術者、③環境問題やボランティア活動の指導者、④文部大臣が直接語りかける番組を提供しています。

*市販の衛星通信の設備では見ることはできません。
町民センターで、番組をお楽しみください。

小学生画伯登場

防火ポスター

コンクール入選作品

このほど町内の小学五年生を対象に、平成十一年度防火ポスターコンクールが行われました。応募作品数は四十二点。その中で、最優秀賞と優秀賞合わせて四点が決まりました。その四点を紹介いたします。なお、最優秀賞の原田友弥くんの作品は、五城目消防署のシャッターに描かれています。



優秀賞 山田明加さん
(五城目小・5年)



最優秀賞 原田友弥くん
(富津内小・5年)



優秀賞 伊藤和日子さん
(大川小・5年)



優秀賞 八柳友佳李さん
(大川小・5年)

ごじょうめの文芸

【短歌】

高速道路の工事は日毎盛んなれど
里の廃屋増えしを哀しむ

仲町 飯塚定四郎

発掘の中谷地遺跡息吹かせて
新世紀への道開けゆけり

湯ノ又 沢田石和子

幼き日あそび場なりしふるさとの
古びし杜の新築成れり

古川町 錦織 ヨネ

明日萌の駅見て来しと妹のいう
すずらんまんじゅうなど売られていしと

長町 鍋谷フク枝

【俳句】

掛大根鴉二三羽見ていたり

新畑町 近江 三保

女手の暖簾さはやかそば処

長町 大島つむぎ

落葉散る田圃の中に高速路

帝釈寺 草皆 茂樹

【川柳】

夕焼けはミレレーの似合う農の道

谷地中 佐藤 栄子

健康の幸せおもう土いじり

岩野 鳥井 秋子

断ろう鬼のなさけだ友情だ

下山内 大石 一粹

ブランドに女が女意識する

館町 細田 陽炎

期間限定発売！
特別定期預金

今がチャンス

+年0.3%

ドリーム2000

お取扱期間 平成11年12月30日(木)まで

まごころかよう



五城目信用金庫

本店

☎018-852-2115(代)

お預入金額 / 10万円以上

(ただし、お1人様500万円以内に限定させていただきます)

お利息(固定金利) / 店頭表示金利に年0.3%の上乗せ

お預入定期預金 / スーパー定期1年もののみといたします。

自動継続もご利用いただけます。

(ただし、継続後の金利は店頭表示金利となります)

お預入できる方 / 個人の方および法人

(マル優扱いもできます。この定期預金の取扱は、

新規のお預入またはドリーム70の満期継続に
限定させていただきます)

おともだちがまってるよ

平成12年度 保育園入園のご案内



いつもニコニコ大川保育園のお友達

町内 各保育園では、平成十二年度の新入園児を募集します。

保育園は家庭の都合で保育できないお子さんを対象にしています。入園申込書をよくお読みになり、手続きをしてください。

なお、現在入園しているお子さんが引き続き入園する場合も申込みが必要です。

▽入園申込書配付期間
12月14日～12月16日

▽入園申込書配付場所
各保育園と役場福祉保健課

五城目・内川・大川保育園

入園申込受付期間
平成12年1月10日～1月12日

受付場所 町役場 町民談話室
馬場目・杉沢・富津内保育園

入園申込受付期間
平成12年1月5日～1月6日

受付場所 各保育園
すこやか子育て支援事業

戸籍上の第三子（実子）以降の子どもの保育料を免除します。

申請書の受付
保育園の入園申込み時に受け付けます。

提出する書類

免除申請書、戸籍謄本

※五城目保育園では、「五歳児」の保育もしています。お申込みをお待ちしています。

※問い合わせ 役場福祉保健課
(0852) 5128

がんばる人にまる

(敬称略)

第43回秋田県森山登山競技大会

(11月3日・雀館運動公園スタート)

◆駅伝の部

◇一般男子団体 (7,700円)

優勝/株宮盛 (31分28秒)

2位/Hプラス1

3位/五城目町役場B

◇中学男子団体 (6,700円)

優勝/秋大付属中A (27分8秒)

2位/大潟中

3位/羽城中B

◇中学女子団体 (3,500円)

優勝/土崎中 (16分20秒)

2位/羽城中

3位/五一中バスケットボール部

◆ファミリーコースの部 (1,700円)

優勝/浅野満・友人 (12分43秒)

◆個人の部

◇一般男子 (7,700円)

優勝/畠山徳義

(エート電機・38分54秒)

2位/石川吉美 (株宮盛)

3位/小玉満 (五城目水走会)

◇中学男子 (2,000円)

優勝/金子将之

(五一中・10分25秒)

2位/二田達也 (羽城中)

3位/大石至 (五一中)

◇中学女子 (1,700円)

優勝/佐藤朱美

(潟西中・10分30秒)

2位/佐藤あけみ (五一中)

3位/菅原小百合 (土崎中)

町長の主な予定 (12月)

- 1/全国町村長大会 (東京都)
- 2/全国町村長大会 (東京都)
- 3/金野定吉さん100歳長寿祝い金交付 (平ノ下)
- 7/県町村会理事会 (秋田市) / 災害共済支部委員会 (秋田市) / 県町村会負担金等審議会 (秋田市)
- 8/国際交流県町村長連盟臨時総会 (秋田市) / 県町村文化行政協議会臨時総会 (秋田市) / 県町村林野振興対策協議会監事会 (秋田市)
- 12/杉沢集会所完成式 (杉沢)
- 16/五城目高等学校教育振興懇談会 (ガーデン松竹)
- 28/役場職員仕事納め式 (役場正庁)

郷土料理・仕出し

いしかわ

忘・新年会のご予約承り中

五城目町東磯ノ目2丁目1-7 TEL.0120-52-9842

3人前 **4,800円**

4人前 **5,300円**

5人前 **6,300円**

自家製特製タレ入

肉の専門店

キンスケヤ

五城目町下タ町123

TEL 018-852-2206

3～4人用セット

4,000円

5～7人用セット

5,800円

ふるさとの味
五城目の味

だまこもち・きりたんぽ 全国発送OK

郵便局から贈れます!! チルトゆうパックで送ります!

(五城目郵便局 ☎852-2220)

※お問い合わせ JH日本道路公団秋
田工事事務所 (☎864-5707)

福祉医療費受給者証の 申請をお忘れなく

福祉医療費受給者は、医療機関で、
医療費が無料になります。対象は次の
方々です。

まだ「福祉医療受給者証」をお持ちで
ない方は役場で申請手続きをしてくだ
さい。

▷受給対象者 町内に住所があり、健
康保険に加入している方で次のいず
れかに該当する方。ただし、それぞ
れ所得の制限があります。

- ・4歳未満の乳幼児
- ・母子家庭と父子家庭の18歳未満の児童
- ・高齢身体障害者(65歳以上の身体障
害者福祉法による身体障害者手帳4
～6級をお持ちの方)
- ・重度心身障害(児)者(身体障害者福
祉法による身体障害者手帳1～3級を
お持ちの方、または療育手帳Aをお
持ちの方)

※お問い合わせ 役場福祉保健課
(☎852-5128) 福祉医療担当へ

歳末たすけあい運動募金に ご協力ください



町民のみなさんからお寄せいただ
いた寄付金は、地域の1人暮らしや寝たき
りのお年寄り、身体の不自由な人など、
さまざまな手助けを必要としている
人々のために役立てられています。募
金期間は12月1日から15日までとなっ

ていますので、ご協力をお願いします。

し尿のくみ取りはお早めに

年末のし尿のくみ取りは、大変混み
合います。地区別の申込み締切日を次
のように決めました。ご協力ください。

▷申込み締切日

- ・12月10日(金)
馬場目、富津内、内川、森山地区
- ・12月15日(火)
五城目、馬川、大川地区

▷申込先

- ・五城目衛生舎
(☎852-3867、852-3440)
- ・南秋衛生舎 (☎854-2746)

※来年のくみ取り開始は1月6日です

年末年始の役場業務は お休みです

役場の業務は12月29日から平成12年
1月3日まで休みます。この期間中、
日直職員や守衛が庁舎内にいつもいま
すので、急用の場合などはお気軽にご
相談ください。

温水プールからのお知らせ

- ▷12月5日(日)はクリスマス水泳大会
のため一般の利用ができません。
- ▷12月6日(月)～平成12年2月29日(火)
は改修工事のため休館します。3月1
日(水)から平常どおり開館します。



献 血

町内4か所に献血車が来ます

血液は医療に欠かせません。輸血用
血液は、まだ人工的につくることがで
きません。また、県内の輸血用血液は
いつも不足している状態です。一人ひ
とりの血液が尊い命を支えます。献血
にご協力ください。

テレホン広報でじょうめのご案内
電話でも町からのお知らせをお届け
しています。どうぞご利用ください。



0120-081898 (無料です)

▷日時 12月20日(月)

- ・役場前 9時50分～11時40分
- ・(株)宮盛前 12時00分～13時00分
- ・JAあきた湖東五城目支所前
14時00分～15時00分
- ・町商工会館前 15時10分～16時00分

※お問い合わせは、役場福祉保健課
(☎852-5128)へ



ご好意ありがとう

社会福祉協議会へ寄せられた善意

▷香典返しに代えて

- ・10月20日 3万円 笹尾茂さん
下樋口(亡父俊太郎さん)
- ・10月28日 2万円 佐藤喜一さん
平ノ下(亡祖母キサさん)
- ・11月1日 3万円 金野鐵男さん
昭辰町(亡父三郎さん)

▷寄付金

- ・10月26日 1万1,410円 五城目商店会
(10月17日、きのこまつり開催時、子
供天翔太鼓のみなさんのフリーマーケ
ットでの売上金)

森山荘に寄せられた善意

- ・10月18日 さつまいも18*。
五城目高校1年生
- ・10月22日 歌と踊り つむぎひばり
の会 石川恵子さんほか6人
- ・10月22日 歌 民謡愛好会
金野金五郎さんほか2人
- ・10月24日 セリ3.75*。
石井久一さん 小倉

秋田部品(株)のみなさん

11月5日、秋田部品(株)のみなさん
85人が、創立10周年を記念して、養
護老人ホーム森山荘と特別養護老人ホ
ーム広青苑の窓拭きや清掃をしまし
た。まごころありがとうございました。

秋田五城目・森山の湧水で仕込んだ



別撰(1.8ℓ)
1,600円
純米吟醸(1.8ℓ)
3,200円
純米吟醸(720ml)
1,600円

限定品

希望乃泉
k i b o n o i z u m i

ふるさとの気持ちを
いっぱい詰めて
遠く離れたあの方へ。

プロデュース 株式会社あらかわ 荒川 達雄 ☎0120-52-3456
〒018-1721 秋田県南秋田郡五城目町字七倉85-3 TEL.018-852-3903 FAX.018-852-3456

醸造元 渡邊彦兵衛商店
秋田県南秋田郡五城目町字下夕町48番地
TEL.018-852-4130

INFORMATION

町からのお知らせ



募集

16トン級除雪ドーザ ほしい方いませんか？

町では、16トン級除雪ドーザを売却します。ご希望の方（町内の企業、団体、個人）は、町役場建設課へご連絡ください。

▷機種 昭和51年式TCM16トン級ショベルローダ

▷申し込み締め切り 12月13日（月）

※申し込み、お問い合わせは役場建設課（☎852-5252担当佐々木）



お知らせ

「所得控除」の対象になる 国民年金保険料

平成11年中に支払った国民年金保険料は、年末の保険料控除を申告する際、社会保険料として控除することができます。忘れずに申告してください。支払った保険料がわからないときは、お問い合わせください。なお、国民年金の定額・付加保険料は次のとおりです。

▷定額保険料 1月～12月＝月額13,300円 1年前納155,750円

▷定額と付加保険料 1月～12月＝月額13,700円 1年前納160,430円

※お問い合わせは、役場町民生活課（☎852-5112）へ

稲作農家の経営安定のための 資金をお貸しします

平成11年産米の米価の下落と高温障害による品質低下に伴う収入の減少が予想されます。県では「秋田県稲作農家緊急経営安定資金」の制度があります。どうぞご利用ください。

▷融資額 15万円以上500万円以内

▷貸付利率 年1.0%

▷貸付対象者 農業所得が農家所得の半分以上を占め、昨年に比べ、15万円以上収入が減った方。（生産調整の目標達成率100%以上の方）

▷融資の時期 平成12年3月下旬

▷返済期間 5年以内

※詳しくは、役場農政課（☎852-5215）へお問い合わせください



農業所得標準の 計算方法が変わります

平成11年分の農業所得標準は今までどおりですが、平成12年分（平成13年2月16日～3月15日申告分）から農業所得標準の計算方法が次のとおり変わります。

①水稲、野菜畑、果樹畑などの所得金額の農業標準による計算は、収入金額課税方式（収入金額×所得率）になります。

②ハウス作物を栽培している方は、他の作物を含め農業所得の計算を収支計算で算出することになります。

③各作物ごとの所得金額を計算した後、農業全般に共通する経費は、「共通控除経費（車両、固定資産の減価償却費、修繕費、雑費など）」として控除します。

④上記③のほかに実額で控除する経費を設けています。

※農業標準は、申告のための目安です。収入、経費を記録することで容易に収支計算ができますので、個別の事情を表すことのできる収支計算をお

勧めします。詳しくは、秋田北税務署（☎845-1161）または役場税務課（☎852-5144）へお問い合わせください。

選挙人名簿を縦覧します

公職選挙法の規定により、選挙人名簿に登録した方の氏名や住所、生年月日を記載した書面を次の期間縦覧します。

▷期間 12月3日～12月7日

▷時間 8時30分～17時

▷場所 町選挙管理委員会室（役場3階・☎852-5318）

製造事業所のみなさん 統計調査にご協力ください

平成11年12月31日現在で、次の調査を行います。ご協力ください。

▷工業統計調査（製造事業所の実態を調査）

▷石油等消費構造統計調査（従業員30人以上の製造事業所の石油などの消費実態を調査）

年末年始にかけて調査員がおうかがいします。調査票に記入した内容は、統計法に基づき秘密が厳守されます。正確な記入をお願いします。

※お問い合わせ 役場企画振興課（☎852-5352）

日本海沿岸東北自動車道情報

日本海沿岸東北自動車道工事のため、引き続き道路の通行を制限しています。また、工事車両の通行により、ご迷惑をおかけしています。土砂の運搬は雪が降るまで行う予定です。日暮が早くなってきましたが、今までどおり18時ころまで工事をさせていただきます。ご協力をお願いします。

▷通行止 町道樋口下樋口線

▷迂回通行 町道西野四ツ谷線・町道西野海老沢線

あっ！とおどろく洗車の
大革命！
タオルでの手洗い洗車を超える
魔法の布ソフト洗車機
愛車を傷つけない 魔法の洗車機 **南秋初登場**
湖東商事
五城目町大川国道7号線沿い ☎875-3550・4317

肖像写真
1日仕上げ！
(カラー・白黒共)
コンピューター ●葬儀用写真
による ●着替え・バック消し
画像処理 ●古い写真の修整
イトウカメラ
伊藤写真館
五城目町ガーデン松竹向かい ☎852-3667

忘・新年会プランご予約承り中
・中華・和食・タラバガニ・キンキ
・スッポン・フグ・ハタハタ・豆腐
各コース¥3,000円から承ります
・10名様以上のお客様は
プラス¥2,000円で150分飲み放題
居酒屋 たけだ ☎852-2981

2000年1月 ゴミ収集日程表

燃えるゴミ

収集町内	収集日	曜日
新里町・広ヶ野・希望ヶ丘・田町・上田町・今町 御蔵町・小池町・川原町・新町・一番町・古川町 紀久栄町・館町・中川原・樋口・岩城町 大川（1区～4区以外の地区）・森山地区・馬川地区	6日・10日・17日 20日・24日・27日 31日	月・木
築地町・畑町・新畑町・東磯ノ目 西磯ノ目・矢場崎・仲町・長町・米沢町 雀館・昭辰町・大川（1区～4区） 馬場目地区・富津内地区・内川地区	4日・7日・11日 14日・18日・21日 25日・28日	火・金

資源ゴミ

収集町内	空きビン類	空きカン類
馬場目地区・富津内地区・内川地区	第2火曜日 11日	第4月曜日 24日
新里町・広ヶ野・希望ヶ丘 大川（1区～4区以外の地区）・森山地区・馬川地区	第2火曜日 11日	第4火曜日 25日
今町・御蔵町・小池町・川原町・仲町・長町 米沢町・雀館・昭辰町・大川（1区～4区）	第2水曜日 12日	第4水曜日 26日
築地町・畑町・新畑町・東磯ノ目 西磯ノ目・矢場崎	第2木曜日 13日	第4木曜日 27日
田町・上田町・新町・一番町・古川町 紀久栄町・館町・中川原・樋口・岩城町	第2金曜日 14日	第4金曜日 28日
全 町	5日・12日・19日・26日	毎週水曜日は ペットボトル



お願い

次の燃えないゴミは、それぞれにまとめてください。
第2、第4の資源ゴミ収集日に収集します

・ガラス類：コップ、ガラス食器、ガラスの破片など
・金属類：なべ、やかん、アイロン、トースターなど
・他の燃えないゴミ：陶磁器、ポット、乾電池など

役場 町民生活課 852-5112

冬でも食中毒にご注意ください

年末年始は多くの食品が短期間に流通します。冬でも食中毒は発生します。家庭でできる食中毒予防の六つのポイントは次のとおりです。

①食品を購入するとき

・生鮮食品は新鮮なものを選び、表示のある食品は消費期限を確かめる。・温度管理の必要な食品は最後に購入し、寄り道しないで持ち帰る。

②家庭で保存するとき

・温度管理が必要な食料品はすぐに冷蔵庫や冷凍庫に入れる。・冷蔵庫や冷凍庫のつめすぎに注意する。

・冷蔵庫は10度以下、冷凍庫はマイナス15度以下に温度を設定する。・肉や魚などは、ビニール袋や容器に入れ、他の食品に肉汁などが触れないようにする。

③下準備をするとき

・石けんなどで手を良く洗う。・肉や魚などに使った包丁やまな板は良く洗い、熱湯をかけてから他の食品に使う。・冷凍食品は冷蔵庫や電子レンジ解凍する。

・包丁、まな板、ふきんなどは使った後、よく洗い、熱湯、漂白剤などで消毒する。

④調理するとき

・手を洗う。・加熱して調理する食品は十分に加熱する。

・調理を途中でやめるときは、冷蔵庫に入れるか、十分に再加熱する。

⑤食事するとき

・手を洗う。・温かく食べる料理は常に温かく。冷たくして食べる料理は常に冷やしておく。

・調理後の食品は、室温に放置しない。

⑥食品が残ったとき

・冷蔵庫に保存するときは、浅い容器に小分けする。・温め直すときは、十分加熱する。

・時間が経ちすぎたものは捨てる。

食中毒予防の三原則は、食中毒菌を「付けない、増やさない、殺す」です。これらのポイントを守り、家庭から食中毒をなくしましょう。食中毒は簡単な予防方法をきちんと守れば予防できます。

灯油が安い!

信頼の炎を燃やして...



有限会社 **ワタナベ燃料**

五城目町高崎字里下80-1 TEL.018-852-3355

業界初! コンピューター配送システム導入

- ・お客様の灯油使用料をコンピューターで管理。
- ・灯油が無くなる前に配達します。
- ・灯油切れの心配がありません!

※灯油の管理は、当店におまかせください。

取扱店

■アポロマート ■デイリーストア五城目店 ■スマイル車検
TEL.018-875-3300 TEL.018-852-5333 TEL.0120-841373

12月町民カレンダー

December
1999

日	月	火	水	木	金	土
11月28日			○飲酒運転追放県民運動強調月間(31日まで) ○2歳児歯科健診(役場保健室・受け付け12:45~13:15・平成9年3月~同年6月20日生まれ) ○麻しん予防接種(湖東総合病院・受け付け13:30~14:00・対象平成10年8月~同年9月生まれ) ○特設人権相談所開設(五城館・10:00~15:00)	2	3	
5 ○第9回クリスマス水泳競技大会(屋内温水プール・9:30~)		7 ○五城目幼稚園もちつき会(10:30~)	8 ○五城目保育園もちつき会 ○日本脳炎予防接種2回目(湖東総合病院・受け付け13:30~14:00・対象平成8年9月~同年10月生まれ)	9 ○機能回復訓練(役場保健室・13:00~15:00)		11 ○年末の交通安全県民総ぐるみ運動(20日まで) ○富津内保育園おゆうぎ会(9:00~11:00)
12 ○環境と文化のむら自然観察会(自然ふれあいセンター・10:00~14:00)	13 ○母子手帳交付妊婦相談(役場福祉保健課・9:00~15:00) ○なんでも健康相談(役場福祉保健課・13:00~15:00)	14 ○乳児健康診査(役場保健室・受け付け12:45~13:15・対象平成11年2月、同年5月、同年8月生まれ) ○ツベルクリン反応検査(千葉内科医院・受け付け13:30~14:00・対象平成11年3月~同年5月生まれ)	15 ○三種混合予防接種3回目(湖東総合病院・受け付け13:30~14:00・対象平成10年12月~同11年2月生まれ)	16 ○ツ反判定、BCG接種(千葉内科医院・受け付け13:30~14:00・対象12月14日に受けた方)	17 ○乳幼児健康相談(役場保健室・受け付け・平成10年11月生まれ・同11年6月生まれ10:00~10:30)	18 ○消防友の会役員会(消防本部・13:30~)
	20 ○献血(町内4か所に献血車が来ます・9:50~16:00)	21 ○五城目保育園クリスマスおゆうぎ会	22 ○五城目幼稚園クリスマスお楽しみ会(9:30~) ○麻しん予防接種(湖東総合病院・受け付け13:30~14:00・対象平成10年10月~同年11月生まれ)	23 天皇誕生日	24 ○幼稚園・小学校・中学校第2学期終業式(1月13日まで冬季休業)	25 ○広域五城目体育館の無料開放(行事のない水曜日と第2・第4土曜日)
	27 ○母子手帳交付妊婦相談(役場福祉保健課・9:00~15:00) ○なんでも健康相談(役場福祉保健課・13:00~15:00)	28 ○官公庁仕事納め(1月4日が仕事始めになります)	29 ○消防年末特別警戒(31日まで)		31	元日 2000年1月1日

一瞬の脇見が重大事故に！

平成11年11月から道路交通法が一部改正されました。次の行為で交通の危険を生じさせると罰則などがあります。

- ①走行中の携帯電話などの使用が、原則禁止になりました。
- ②走行中、カーナビやテレビを見続けることが禁止行為になりました。



走行中のケータイ・カーナビの注視はだめだめ！



Healthy and Diet

体脂肪が気になる方のお茶

BEAUTY PROPORTION TEA
ビューティープロポーションティー
ORIGINAL BLEND

30袋入り 2,000円

五城目 中央ドラッグ 五城目町朝市通り ☎852-3217

なつかしの

ごじょうめのわらした

作: 大石 清美

(「わらした」とは五城目弁で、「子どもたち」の意味です)

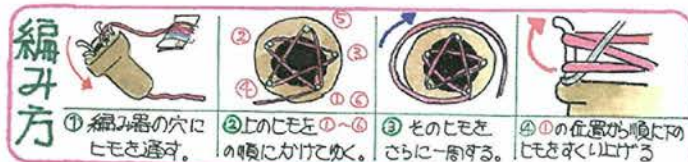


リリアン
は木製で、上
にヒモをかける
ための金具が
打たれている。

雪が降りはじめ、外での遊びがあまり
出来なくなる頃、ごじょうめの店先に「リ
リアン」の編み器とヒモが並んだ。

女の子はもちろん、男の子も鼻い
ちめて、黙々と編んで、その長さ
を競った。あのヒモは何に
使ったんだっけ……

リリアン用のヒモは、
一束10円位で売られてい
た。編みやすいように古ハ
ガキなどに巻き替えて使う。
色あいを考えて、いろんな
色のヒモを混ぜて編んだ。



編み方
① 編み器の穴に
ヒモを通す。
② 上のヒモを①～④
の順にかけて巻く。
③ そのヒモを、
さらに一周する。
④ ③の位置の順に上
のヒモをすく上げる。
⑤ 編み器をまわして
同じことをくり返し



家の中での遊びは手足を
つかった単純な動作の
遊びが多かった。

「ぶんぶん」もそのひとつです。

オーバや、カーダなどの大き

なボタンにヒモを通してグルグル

まわして、手を曲いだり、肉じ

りするとプ、プ、音がする

壁に木の皮でも

つくれる。



赤や青、白黄色など、いろんな色の
長さ2m位の細いビニルひもは

晩秋から冬の間に、店先に下げ

られていた。1本いくら位だ

たか思ひ出せない。

いろんな編み方があって、それら

を、指輪や腕輪を

編んであそんだ。

ほら、見れ～

えべ～

こんな

編み方も

あったけ

ばなてう

のけな?

なれた。

おくやみ申し上げます

草皆 吉之助さん	94歳	10月 3日	帝 釈 寺
佐藤 重治さん	83歳	10月 8日	西磯ノ目
嶋崎 テルさん	66歳	10月 9日	大川2区
佐藤 キサさん	87歳	10月12日	平ノ下
笹尾 俊太郎さん	74歳	10月13日	下樋口
高津 邦子さん	68歳	10月17日	新 町
船橋 金興さん	80歳	10月24日	今 町
椎名 修太郎さん	68歳	10月26日	富 田
金野 三郎さん	81歳	10月27日	昭辰町
小野 美樹雄さん	90歳	10月28日	野 田
錦織 倉藏さん	85歳	10月29日	希望ヶ丘
千田 幸之助さん	79歳	10月30日	田 町
工藤 兼一さん	71歳	10月31日	浅見内5区
伊藤 喜一郎さん	75歳	10月31日	脇 乙

おたんじょう おめでとうございます

はじめまして
りゅうたろう
佐々木龍太郎です
よろしくね!

「兄弟仲良く育ててほしいです♡」
……お母さんから



佐々木 龍太郎くん	10月 7日	公典・春枝	新畑町
加賀谷 京吾くん	10月19日	正人・彰乃	昭辰町
原田 萌々ちゃん	10月24日	一仁・舞子	富 田
小玉 樹くん	10月24日	静男・三津子	浦横町
下山 竜篤くん	10月29日	光之・美香	西磯ノ目
工藤 風音ちゃん	10月31日	郁・千春	浅見内4区

町の人口と世帯



	前月比	昨年比
人 口 13,134	(-16)	(-116)
(男) 6,189	(- 9)	(-67)
(女) 6,945	(- 7)	(-49)
世 帯 4,072	(- 1)	(+12)

平成11年
10月末現在

★十二月になると思い出
すのが、夜中に真白な雪
道を裸足で走ったこと。とにか
く一生懸命になったという印
象です。あれから二年が過ぎ、
自分の足は丈夫になりました。
大切な宝物を落とすまいと、
必死になって探していたもの
です。今はその宝物どうして
て? もちろん大切に持ってま
す。生涯大切にしていこうと
思っています。その宝物って何? ク
ルマの力キです。(笑) ……
◆一九〇〇年代最後の
「広報こびょうめ」を
お届けします。そう考えると、
「広報紙」って、毎月、町の歴史を
刻んでいるんだなあ」と改めて
実感します。今年も至らない点
が多くあったことをおわびしま
す。◆次にお会いするのは二〇
〇〇年第一号。今年の反省を生
かし、ますます頑張っていこう
と思います。◆みなさん、良い
お年をお迎えください。……

編集後記

